

評価シート

耐震	部位	壁	分類	閉鎖型	有効期限	2028年3月31日	評価番号	W-010	
評価技術名称 荒壁パネル					連絡先	株式会社 丸浩工業 〒612-0029 京都府京都市伏見区深草西浦町 1-49 電話 075-641-4405	http://www.maruhiro.jp		
概要	技術概要 伝統的竹小舞搔荒壁下地をパネル化した塗り壁材。木造住宅の内外壁に使用して耐震性を向上させる工法。				技術の特徴 ・ パネル化のため従来の現場施工による荒壁より施工性に優れている。				コスト サンプル構面 81,675 円/kN 設計見積り例 —
	公的機関による技術評価・性能証明 機関名 (一財)日本建築総合試験所[倍率性能評価] 評価番号 国土交通大臣認定 FRM-0101(貫仕様) FRM-0102(受材仕様) 評価取得日 平成17年5月12日				実験実施機関 (一財)日本建築総合試験所、京都大学 防災研究所、金沢工業大学 その他 難燃材料 国土交通大臣認定 RM-0019 防火構造 国土交通大臣認定 PC030BE-0923,0924				
	適用範囲 構法 木造在来軸組工法、伝統的構法 規模 3階建て以下 基礎、地盤 特になし 適用部位 内外壁 その他 特になし				写真・図 パネル図 1800 内部に木小舞を配置(断面36×6) 600 120 60 150 75 裏面(木小舞長手側) 表面(木小舞短手側) 26 600				
	主要構成部材の仕様 芯材:木小舞 すぎ製材(無等級材)同等以上 主材:中塗土 京都産深草土 古紙 古新聞紙 土混和剤 セメント系硬化材				施工図 壁パネルの形状 受け材30*18以上 600 600 600 600 600 通し貫105*18以上 ビスの留めつけ間隔は木小舞の期隔@150 受け材30*18以上				
仕様	耐震補強性能 評価仕様:受け材仕様、貫仕様(両面張り)				壁基準耐力				壁基準剛性
	受け材仕様				2.8(5.6) kN/m		560(1120) kN/rad./m		
	貫仕様				2.4(4.8) kN/m		445(890) kN/rad./m		
設計方法 ①柱接合部による低減 取付部分が健全であること ②劣化による低減 取付部分が健全であること				パネル構成図 垂直の下地(柱受け材) 垂直の小舞 水平の下地(貫) 水平の下地(土台受け材) 貫構法(縦受け材付加)				垂直の下地(柱受け材) 水平の下地(横枝) 垂直の下地(縦枝) 垂直の小舞 水平の下地(土台受け材) 受け材構法	
施工者指定 特に指定なし				その他					